

共済病院だより

VOL.56

共済病院は全力で
【健康＝寶】をお届けします

新しい船出へ



訪問看護ステーションアンジュ 利用者様 作



謹賀新年

2025年新春

目次

○新年のご挨拶

○病院からのお知らせ

○写真コーナー

など

新年のご挨拶

医療法人博仁会共済病院

理事長 本松茂

あけましておめでとうございます。希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は能登の地震と水害に心を痛め、政治の混乱と世界情勢の悪化に落ち込み、パリオリンピックとパラリンピック、そしてMLB大谷選手の活躍に心躍った1年でした。

振り返れば2020年春、当院では県および市の要請を受け、地域に貢献すべく、他院に先駆けてコロナ発熱外来を開始し、多くの病院が躊躇する中、コロナ入院にも対応しました。

昨年はコロナも下火になり、当院も通常医療にシフトしているところで、2年前に新設しました訪問看護ステーションアンジュを加え、三位一体の体制が出来上がりました。健診センターでは病気の早期発見に努め、外来・病棟の各診療部門では的確な診断と治療を行い、在宅支援室と訪問看護ステーションでは在宅療養のお手伝いをさせていただきました。

我々共済病院の使命は地域医療です。今年も「治す医療」と「支える医療」に邁進します。



院長 星野徹

令和7年の新春を皆さんそれぞれ新たな気持ちで迎えられたことと思います。1年半前に新型コロナウイルス感染症はそれまでの感染症法上の分類の2類相当から5類感染症へ移行されましたが新型コロナウイルスが完全に消えたわけではなく、それから何度も波のように襲ってきて、引き続き病院全体での感染予防や感染防護の対策が必要とされました。けれども、新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬が武器として使えるようになり、さらに新型コロナウイルス自体の病原性が徐々に弱まってきたことから、昨年の春頃からはやっと新型コロナウイルスに振り回されることなく本来の一般診療に取り組めるようになりました。

しかし、医療費を含めた社会保障費の抑制政策の一環で、昨年6月の診療報酬改定では物価高で病院運営経費が増加するなか、診療に対する対価が据え置かれ、医療機関はどこも経営が厳しいものになりました。約20年前の小泉医療制度改革以来、医療費が継続的に抑制され、今では国民医療費の国際比較ではOECD（経済協力開発機構）加盟先進国中最低となってしまいました。

もっとも、国民一人当たりGDP（国内総生産）の比較においては世界第2位となったこともある日本ですが、今では世界40位台に低迷しており、アジアの中でも上位5カ国に入れない惨たんたる経済状態なので仕方がないことなのかもしれません。



もはや日本は先進国とは言えない状況で医療も身の程にあったものに抑えなければいけないと国は考えているようです。

年明け早々暗い話題になりましたが、共済病院では常勤医師の退職や派遣医師の一時欠員で縮小することになってしまった診療体制を元通り以上のものにするを旨とし、医師の招聘を予定しています。整形外科は昨年春から常勤医師が2人に減り手術件数も減少してしまいましたが、春には3人体制となり手術を待つ患者さんの待機日数も短くなることと思います。また、消化器内科の医師にも来ていただき、内視鏡検査の件数を増やして検査予約が取れなかったり待ち期間が長期となったりを防ぐだけでなく、内視鏡的処置の件数を増やす予定です。さらに医師の招聘に合わせ春までに手術室および内視鏡室をそれぞれ2室ずつに増やし、今後増加するであろう手術・内視鏡件数に対応できるように工事・整備を進める予定です。

共済病院は今年も職員一同が力を合わせて今まで以上に積極的に診療や業務に取り組み、安全・安心な医療を提供し、地域を支えてまいります。

医局

医局という言葉は、大学医学部付属病院などに所属する医師の集団・人事組織を意味しますが、当院では「医師の集まり」として紹介いたします。

現在、常勤医師12名

（内科5、外科2、整形外科2、地域医療1、麻酔科1、健診センター1）、非常勤医師38名（内科21、外科2、整形外科5、地域医療1、婦人科3、健診センター3、放射線3）で診療を行っています。

大病院と異なり医師同士が直接相談しやすい医局であることが特徴です。週1回カンファレンスを行って情報交換をし、月1回の勉強会では各科当番制で専門外の知識を互いに学習しています。



看護部

共済病院は地域の皆様の健康を支える病院として、外来診療から入院対応、訪問看護や訪問診療などの在宅療養支援、そして健診までトータルな医療・看護を提供しています。

看護職はあらゆる場面で患者さんの最も近い存在です。当院を訪れる患者さんや地域の方々に、心を込めたやさしさのある看護の提供を日々心掛けています。

新型コロナウイルス感染症パンデミックを経験し、医療を取り巻く環境も大きく様変わりしました。そして、人とのつながりが希薄になったとも感じており、「対話」、「コミュニケーション」の重要性を改めて再認識させられました。

今後も患者さんに寄り添った看護を目標に努めていきたいと思っています。

最後に、地域の皆様にとって明るく希望に満ちた1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



外来看護部

私たちは、内科・外科・整形外科・婦人科・乳腺外科・禁煙外来の診療科と救急外来・内視鏡検査を担当しており、多岐にわたる専門的知識、技術を持って診療介助に携わっています。



当院は地域密着の病院であり、地域の皆さんが少しでも住み慣れた地域に長く過ごせるようにお手伝いをさせて頂いています。日常生活で困りごと、受診時に言い出しにくいこと等、お気軽に看護師にご相談ください。小さなことでも構いません。私たちは、外来診療の提供と同時に在宅における療養支援も積極的に行い、皆さんが安心して暮らすために少しでも力になりたいと思っています。

これからも地域を支え、安全で安心できる、質の高い医療・看護の提供できるように他職種とも連携し一丸となって頑張っていきます！

2階病棟

2階病棟には地域包括ケア病床（32床）と療養病床（5床）があり、主に急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して、住み慣れた地域での療養（在宅や介護施設への復帰）



を支援する役割を担っています。

看護師は医師の指示に基づいて、患者さんへのリハビリ指導・生活動作支援を行います。

そのため、多職種で患者さんをサポートする体制をとり、医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士等各専門職と連携をとって在宅生活等に向けた活動を行っています。

在宅支援看護師を中心に訪問診療や訪問看護ステーションアンジュとも協力し、退院後の生活環境を整え、その方らしい生活を送ることが出来るようお手伝いをしていきます。

3階病棟

3階病棟は、外科と内科が混在する病棟で、高齢者の患者さんの入院も多いのが特徴です。患者さん一人ひとりが安心して退院し、再び自宅や施設での生活を続けられるよう、入退院支援看護師や受け持ち看護師を中心に多職種が連携して支援を行っています。また、患者さんやご家族の不安を軽減するため、丁寧な説明や寄り添ったケアを心掛けています。



さらに3階病棟には幅広い年齢層のスタッフが働いており、その中には子育てと仕事を上手に両立しながら頑張っているスタッフも多くなります。スタッフ間の連携やサポート体制が充実しており、明るく活気のある職場環境が整っています。患者さんはもちろん、働くスタッフも安心して過ごせる病棟を目指しています。

4階病棟

4階病棟は整形外科と内科、消化器外科の混合病棟です。手術を受ける目的で入院される整形外科の患者さんが多く入院されています。膝や股関節の人工関節の手術や、頸椎や腰の手術、手や足の外傷などの手術を目的とした患者さんです。手術後に徐々に回復していく患者さんを側で支えることができ、看護師としてのやりがいを感じられる病棟です。



患者さんが入院から退院まで安心して療養生活を送ることができるよう、医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフを含む多職種で連携しています。そして、退院後も安心した生活が送れるように退院調整を行い、希望する療養先に退院できるように、病棟の退院支援看護師を中心とした多職種で支援させていただいています。

手術室

当院の手術室では、消化器外科・整形外科・婦人科の手術を行っています。手術を受ける患者さんは大きな不安を抱えています。その不安を少しでも軽くできるよう、そして安心して手術を受けて頂くために、入院患者さんには手術室看護師が手術前日（手術当日の入院患者さんへは手術当日）に術前訪問を行っています。



手術・麻酔・痛みに関する不安や、術前の説明で分からなかった事など些細なことでも質問してください。丁寧にお答えし、安全・安楽に手術が受けられるよう努めていきます。

手術・麻酔・痛みに関する不安や、術前の説明で分からなかった事など些細なことでも質問してください。丁寧にお答えし、安全・安楽に手術が受けられるよう努めていきます。

内視鏡室

内視鏡室では地域の皆様の健康を守るために、早期発見・早期治療を目指し、健診部門と一般検査の両方に力を入れています。最新の機器を導入し、精度の高い検査を提供するとともに、



できるだけ苦痛を軽減することを心がけています。経鼻内視鏡を使用することで、従来よりも楽で負担の少ない検査が可能です。また、希望に応じて鎮静剤の使用も可能ですので、よりリラックスした状態で検査を受けていただけます。地域に密着した医療を提供し、皆様が安心して検査を受けられる環境を整えております。何か気になる症状や不安なことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。些細なことでも丁寧にお話を伺い、皆様のお力になりたいと思っております。

今後も、より質の高い医療サービスを提供できるよう、スタッフ一同努めてまいります。

放射線科

当院の放射線科では、一般撮影、CT、MRI、マンモグラフィ、透視装置、骨密度装置、ポータブル撮影装置、外科用イメージがあり、多様な装置を完備しているので幅広い画像を提供し、読影レポートも提出しています。

放射線科は外来、入院どちらの患者さんも検査に来られます。

その際、患者さんやご家族、施設の方とコミュニケーションを密にすることで、検査に対する不安を和らげるよう努めています。また、患者さんは痛みがあったりすると思いますが、可能な限り負担軽減を図り、痛みを最小限に抑えながら検査を行い、適切な画像結果を提供しています。患者さんに寄り添い、丁寧に説明をすることで安全・安心な検査を受けられるように心がけています。



臨床工学科

臨床工学技士という職種はあまりなじみのない職業かと思いますが、医療機器の保守点検、操作を通じて、医療を支える医療技術職です。主な業務である定期的な点検、整備を行うことで、突発的な機器故障を予防しております。



また、院内での医療機器に関する勉強会を行い、医療安全の向上を行うことも業務の一つです。

当院では、機器の管理以外に内視鏡検査にも関わっており、皆様にご不安なく検査を受けられるよう心がけております。

本年もより安全な医療を目指し精進してまいりますので、何卒宜しくお願い致します。

検査科

皆様、寒い日が続きますが体調崩したりしていませんか？検査科では、季節的に流行する病気にも対応できるようにしています。

インフルエンザウイルスは抗原検査、コロナウイルスとマイコプラズマは抗原検査だけでなくPCR検査もできます。

おすすめの検査は、睡眠時無呼吸症候群の簡易検査です。「いびきがひどい」、「呼吸が止まっていた」などと言われたり、「日中も眠い」ということはありませんか？睡眠時無呼吸症候群のサインかもしれません。機器を貸し出して自宅で簡易検査をしていただけます。気になる方は一度、外来でご相談ください。

本年も迅速に信頼できる検査結果を提供できるよう、検査科一同努力して参ります。



リハビリテーション科

昨年は当科に2人の新入職員を迎え入れ、慌ただしく過ぎ去った1年だった。新年を迎えたこの時期、いつも気が引き締まる思いがする。去年よりいい年にするぞ、去年より成長したい、そういうモチベーションが最も高まるタイミングでもある。



リハビリテーション科という単位でも病院という単位でも同様であり、業務規模であったり、人員確保であったり、働く環境であったり、患者満足度（CS）においても、昨年を上回らなくてはと、緊張のあまり武者震いがする。毎年の成長によって組織はどのようにでも化けるとささ思っている。

高齢化問題や医療充実化が謳われている日本の現状を踏まえると、リハビリテーション職のニーズは高まっていると日々感じる。今後は院内業務にとどまらず、在宅医療も視野に入れながら地域医療に貢献していきたい。

変わらず一人ひとりの患者さんに寄り添えるよう職員一同努力して参ります。

本年もよろしくお願ひいたします。

栄養科

栄養科では管理栄養士2名と給食業務委託職員13名（管理栄養士1名、栄養士1名、調理師3名、調理補助8名）で入院患者さんの栄養管理を行っています。患者さんの治療を栄養面から支えていくことに誇りを持ち、日々



患者さんのもとに足を運びながら個々の病態や食べる能力・嗜好等をきめ細かく把握し、安全で心のこもった食事と共に「食べる楽しみ」を届けられるよう工夫を重ねています。また食事療法が必要な場合には、入院・外来患者さんやご家族を対象に個別栄養指導を実施しています。医師の指示に基づき何をどのように食べたらよいのか管理栄養士が具体的にご説明いたします。詳しくは主治医にご相談ください。

薬剤科

薬剤科では、当院で使用する医薬品の情報・購入・病院内各部署への医薬品供給・医薬品のシステム設定の管理、及び、調剤、入院患者さんの持参薬の鑑別等を行っています。



ここ数年は、世界的に医薬品の流通に問題が生じているため、患者さんへの医薬品使用に支障が生じないように、医薬品流通の最新の情報を入手し、将来の動向を考慮しながら医薬品の選定や購入を行い、入手を決めた医薬品が院内や調剤薬局で使用可能になるように、院内システムの設定・管理も行っています。

国の主導により病院の医療データの連携が少しずつ始まっており、それらへの準備を行い、将来、患者さん個々の医薬品の使用情報が、医師や医療技術者にしっかりと提供・利用される体制を目指しています。

在宅支援室

今年で4年目になる部署で、現在約90名の患者さんの自宅や施設に、訪問診療・往診で伺っています。ケアマネジャー、訪問看護師、訪問リハビリ、訪問薬剤師など、様々な職種のスタッフと協力しながら、患者さんが住み慣れた自宅・地域で療養できるようにお手伝いをしています。



当院の病棟や外来はもちろんのこと、地域の病院やクリニック、ケアマネジャー、訪問看護ステーション等、あらゆる場所からの依頼を頂いています。最近では利用者さんの口コミからの相談も多くなってきています。

在宅での点滴や中心静脈栄養、腸管栄養、酸素吸入をはじめ、腹水排液処置や様々な麻薬管理にも対応しています。

在宅療養でお困りの際は、お気軽にご相談いただけたらと思います。

患者支援室

患者支援室には相談員が3人、入院された場合は退院支援看護師が各病棟にいます。



私たちはケアマネや地域包括支援センター、施設の方等、地域の医療福祉介護を担っている方々と外来通院中でも連絡を取らせて頂いたり、もし入院された場合は退院時にカンファレンスを持つようにしたりして情報共有に努めています。お一人ひとりに合わせた支援を目指しています。

地域の皆様が、たとえ病気であったとしても安心してご自分らしい生活を送れるようなお手伝いをさせていただきたいと考えています。

病院の西側出入口（駐車場側）の自動販売機の前に「患者相談窓口」があります。ご心配な事、お困りの事等ございましたらお気軽にお声がけ下さい。

訪問看護ステーション アンジュ

アンジュは2022年12月に開設し、やっと3年目がスタートしたところです。まだまだ、歩き出したばかりのステーションです。



年齢層は若い時があった人が大半です。そして何よりもモリモリと湧くパワーがあります。私たちは地域の皆様、利用者の皆様が安心して住み慣れた場所で、穏やかに生活できるよう心のこもった看護の提供をいたします。通院が困難な方、自宅で療養ができるか心配な方医療的な処置が必要な方、自宅で最期を迎えたい方、介護の方法が分からない方はどうぞアンジュへご相談下さい。

医療機関、介護施設、行政、医師、薬剤師、リハビリ、病院看護師、ケアマネジャー、介護ヘルパー、福祉業者などと連携を取り、親しまれる訪問看護ステーションを目指します。

健診センター

去年は暑い日が続いたり、寒暖差が大きな1年でしたが皆さんは健康状態はいかがですか？当健診センターでは、一般健診、企業健診、市の特定健診、人間ドックなどを行っております。



病院併設の利点を活用して一度の来院で婦人科健診を含めた多種目の検査を受けることが可能となっています。

地域の方々の生活を支えや健康維持と増進のためにお一人でも多く健康診断を受診していただけるよう業務にあたっています。また、技術の向上に努め精度の高い健康診断を目指しています。スタッフ間の連携を密にした協力体制の確立を目指し、誠実で温かみのある健診サービスの提供をすることで皆様の健康を守るための「転ばぬ先の杖」となれるように心がけています。

総務課

病院の総務課は民間企業における『総務・人事部門』の仕事とかなり似た業務内容になります。当院では施設管理や建物の療養環境整備、医療材料の発注や納品管理、人事管理が主な業務となります。その他、ロッカーの配置や給与計算、病院内の雑費管理、代表電話の交換業務など幅広く業務を行います。



また、総務課で働く職員には幅広い知見とフットワークが求められますし、BtoBの仕事が多いのでビジネス・コスト感覚が求められます。

病院は非営利法人となりますので限られた収入の中で収支管理をしなければなりません。そういった厳しい制約がある中でも常に患者さんの安全・安心に配慮した療養環境作りを行わなければなりません。

共済病院職員がいかに最高の医療サービスを提供できるようになるのかを常に意識し業務に取り組むことが我々の重要な仕事と捉え、間接的に患者さんに良い医療サービスを提供できるよう業務に取り組んでいきます。

医事課

事務部医事課は、外来・入院の患者の皆様のお受付、会計に係わる業務と、保険診療に係わる請求業務を行っています。



良質な患者サービスの提供と、適正な保険診療を行うことが私達の使命と考え、日々努力しております。その他、医師の業務負担軽減の一環として、医師事務補助業務を行うとともに、他部署との連携も大事にしております。

医事課は、病院の窓口として患者さんと最初に接する部署です。不安や心配で来院される患者さんに、少しでも寄り添える対応を心がけ、細かな気配りを大切にしていきたいと思っています。何か、お困りの事がございましたら、遠慮なくお声がけ下さい。

おいらせ



○共済病院に新しい仲間が増えました！



昨年10月から看護補助者として勤務している『ユ』さんと『トエ』さんです。彼女たちはミャンマーで日本語と介護についての基礎を学んで来日し、現在は仕事をしながら「もっと患者さんのためになりたい」とスキルアップのための努力を続けています。

当院では初めてのミャンマーからの入職者だったため、言葉や生活習慣等の違いを心配していましたが、今では片言ですが日本語でコミュニケーションが取れるようになり、病院の昼食を食べることが出来るくらい日本食にも慣れてきました。彼女たちには大きな目標があり、日本に定住することや、更に資格を取りミャンマーのために働くことです。その為にも当院での日々を大切に過ごして欲しいと考えています。

彼女たちの屈託のない笑顔は、患者さんだけでなく一緒に働く職員も暖かい気持ちにさせてくれます。共済病院の新しい力として活躍し、それぞれの目標に向かって成長していけるよう応援しています。

○病院実習を終えて

10月に埼玉医科大学医学部から実習生が来てくれました。地域医療について深く学ぶ機会となったようです。実習後にお手紙をいただきました。

地域医療実習を終えて

十月十五日からの四日間、共済病院での地域医療実習の機会をいただき、誠にありがとうございました。

実習においては、訪問診療、訪問看護、地域の薬局の様子を見学し、チーム医療がどのように機能しているのかについて学ぶことができました。在宅医療の真意を実習をする前までは理解しきれませんでした。しかし実習を通して多様な症例を見学させていただいたことで、在宅医療は、患者さんの人生をその人らしく最後まで過ごすこと、患者さん、ご家族との交流を通じた全人的な支援であり、医療支援に欠かせないものであると考えられるようになりました。

今回の学びは大学の机上の勉強では得られないものであり、私達にとって大変貴重な学びとなりました。将来、先生方のような、確かな医療的知識だけでなく、患者さんから信頼をおかれるような豊かな人間性を持ち合わせた医師になれるように、今後も日々精進して参ります。

埼玉医科大学医学部 4年
亀谷真巳
山本晃代

今後の活躍に期待しています！



がんばれ!

○職員旅行に行ってきました

旅行コース

①東京タワー ➡ ②浅草寺 ➡ ③浅草ビューホテルビュッフェ



職員旅行は職員・家族38名参加しました。普段一緒に働いている仲間・家族と親睦を深めるいい機会になりました。

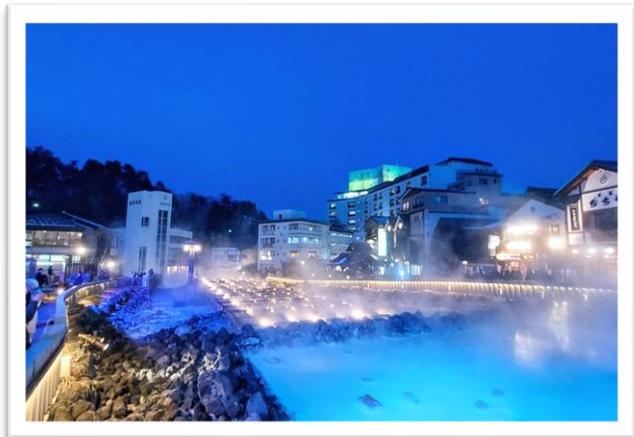
○忘年会を開催しました

今年も忘年会を開催しました。
場所：ステラ・デル・アンジェロ



毎年恒例、本松理事長率いる『共済バンド』。今年3曲演奏してくれました。1年の疲れを癒す歌声が響き渡りました。

○職員自慢の写真コーナー



リハビリテーション科 理学療法士 佐井優友 作

この写真は群馬草津温泉の湯畑を撮影したものです。大学を卒業し、国家試験の結果発表の当日に合格を確認し友達と卒業旅行兼、合格祝いで訪れました。

訪れた時期は寒さが厳しく雪もちらついていたことを覚えています。近くに光泉寺という寺院がありました。そこからはライトアップされた湯畑を一望できるためおすすめです。



宝登山の蠟梅 医師 大和康彦 作

長瀬・宝登山へ蠟梅を愛でに出かけた。寒い時期に、往診先の庭で見かけたこの花を、一度ゆっくり見てみたいと思っていた。蠟梅は、桜と同じように葉より先に花が咲く。そのため蠟梅の木全体が黄色い花に覆われて豪華で美しい行まいをみせる。蠟細工のような質感をもった花弁が特徴で、優美な芳香を放ち、冷たく澄んだ空気の中、少し早い春を感じることができた。



訪問看護ステーションアンジュ 利用者様 作

これらの作品は訪問看護の利用者様が作られました。それぞれ心温まる一つの作品です。自然に笑顔になれます。感謝。感謝。

毎朝一緒に手を合わせて「ありがとう」「今日も1日頑張ります」と元気がもらえています。1日安全に安心して頑張る『守り神』になっています。

皆様どうぞ見に来てください。

(訪問看護ステーションアンジュ 看護師 石塚明美)



編集後記：

明けましておめでとうございます。

今年の病院だより1月号は紙面のボリュームも内容も大きくパワーアップさせて、病院内の紹介を中心の内容にしました。病院内には様々な部署があり、多くのスタッフが連携することで、皆様が健全で、少しでも穏やかな気持ちで過ごせるよう、サポートに努めています。病院内の雰囲気を読者の皆様にも少しでも伝わると良いと思います。

今年も共済病院は大きく成長できるように努力していきます。今後とも共済病院をよろしくお願い致します。

共済病院 広報委員会 一同 (大和、佐藤、沖、森、村岡、中村、石渡)



《理念と基本方針》

★地域を支える医療

地域において求められている病院の役割に基づき、地域の皆様、医療機関、介護施設、福祉施設、行政との連携を大切にして、皆様の健康を支えるために愛され、親しまれ、信頼される病院となることを目指します。

★安全で安心できる医療

健全な経営のもとに、患者様そしてご家族の皆様のご希望を尊重した上で、その病状に応じた適切な医療を提供します。

★患者様に寄り添った医療

患者様のプライバシー、真実を知る権利、自己決定権を尊重して、十分な検討を加えた上でよりよい医療を提供します。

★全職員の自己研鑽による質の高い医療

医療従事者としての自覚のもとに自ら心身の健康保持と増進に努め、また修練を重ねることでそれぞれの医療知識と技術の向上、そして創意工夫に努めます。

《診療科目》

内科：循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科・内視鏡内科

外科：消化器外科・乳腺外科・肛門外科・内視鏡外科

整形外科

婦人科

麻酔科

《附属施設》

健診センター

訪問診療

訪問看護ステーション



共済病院訪問看護ステーション アンジュ(24時間対応)

訪問日：月曜日～金曜日 土日祝日・年末年始お休み

訪問時間：9時～17時まで

※24時間ご連絡がとれる体制をとっています。

TEL 048-711-1039

FAX 048-711-1503



思いやりの心を持って医療に取り組み、皆で大切なものを守っていききたいという私たちの思いを表現しました。

■ 患者さんの生命・健康をイメージ

■ 地域社会をイメージ

■ ささえる病院スタッフの姿勢をイメージ

3つのイメージネーションをあたたかい病院 (= 家) のかたちにシンボライズしました。



【交通】

■ 浦和駅東口 ①②番バス停乗り場
原山三丁目共済病院前 下車徒歩 1分

■ 東浦和駅 ④番乗り場
原山三丁目共済病院前下車徒歩 1分

■ 病院無料駐車場31台

外来診察表

<https://www.kyosai-hosp.or.jp/sinryoubu>

